

JR北海道が春闘要求に回答 非正規の差別解消で前進 賃上げは定昇のみ 5,651円

JR北海道は、3月13日に北海道鉄道本部が提出した春闘要求への回答を示しました。賃上げについては定期昇給（4号俸）とし、4月1日現在で55歳の職員に25,000円支給、パートナー社員については夏季手当に10,000円加算するとしています。54歳以下の一般職社員の賃上げ額は平均5,651円（昨年は5,619円）となります。諸制度の改善では、年次有給休暇1日増（採用時14日→15日）、扶養手当（22歳未満の2人目以降）増額、割増賃金の掛け率改定、エルダースタッフの勤続奨励金増額などです。

鉄道本部が重視して要求した非正規労働者の差別解消について、保存休暇の持越しと介護休職期間の延長、年次有給休暇の付与日数の増（10日→15日）、結婚休暇の有給化、忌引休暇の日数増などの前進がありました。また、特殊勤務手当について賃金規定を準用することになり、フルタイム・パートタイマーにも祝日等勤務手当を支給、スタッフへの結婚祝い給付も新設されます。

寒冷地手当支給と一時金支給時の乗率2分の1撤廃については、エルダースタッフがいなければJR北海道の安全・安定輸送が保たれないという現状を会社も認識しており、鉄道本部は定年延長をふくめ改善にむけて引き続きとりくみを強めることにしています。

函館運送支部・リヴィノールシステム分会 春闘要求書を提出

函館運送支部は3月9日に春闘要求書を提出しました。賃上げ要求は平均30,000円以上、車両運転手当・住宅手当・地域手当などの引き上げ、企業内最低賃金175,500円、労働時間短縮や定年延長・退職金引き上げ、雇用保障、休暇制度の改善などの要求をまとめています。夏季一時金要求は平均60万円です。

札幌合同支部リヴィノールシステム分会は3月2日に提出した要求書で、正職員の基本給一律50,000円増額、時給職員（準職員・パートナー職員・アルバイト・継続雇用職員）の時給一律124円増額を求めました。一時金については、正職員の夏季一時金3.0か月、準職員・パートナー職員の賞与2.0か月、アルバイト・継続雇用職員の夏季一時金1.0か月を要求し、準職員・パートナー職員の定年を65歳まで延長することを求めています。

千歳の「相談会」に12人

道本部労災職業病部会が予定していた千歳での「健康（職業病）相談会」（3月8日）は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止としましたが、案内チラシを見て12人が会場に来ました。当日は会場の北星病院が対応してくれたので、来た人に部会として個別に電話で連絡をとり、必要な人については聞き取りと検査予約などをすすめることになりました。